

## カーボンコピー

一卵性双生児の兄弟がいるとします。兄はとても善良で大富豪、弟は邪悪な人間で兄に食わせてもらっているとします。それでも愛情豊かな兄は弟をこよなく愛していました。不幸にも子供に恵まれなかった大富豪の兄は、大金を投じて自分のクローンを作ったとします。不幸にもクローンは先天性の脳障害でしたが、兄はこのクローンを大変愛していました。

一方、弟は長年の不摂生がたたって、思い心臓病になって、臓器移植しか助かる方法がなくなっていました。なんとしても生き延びたい弟は、兄のクローンに目を付けました。一卵性双生児の兄のクローンの心臓は自分に移植しても拒絶反応がないと考えたのです。兄のクローンを殺せば、自分が生き延びられるだけでなく、兄の財産がすべて自分のものになると考えたのです。そこで、弟は兄のクローンを殺してしまいました。それを知った兄は弟を殺そうと思いますが、弟を殺せば、弟の体の中で生きているクローンの心臓を殺してしまいます。善良な心の持ち主である兄は、弟の犯罪はクローンを作った自分のエゴのためだと考えました。自分の犯した深い罪に気づいた兄は、絶望のあまり命を絶ってしまいます。

兄がいなくなって重しがとれた上に莫大な財産を相続した弟は、やりたい放題の毎日を過ごします。意のままにならないことは、何一つありません。あっという間に10年が経ちます。ある日、意のままにならないことが唯一つあることに気が付きます。自分の寿命です。そこで弟は悪知恵をめぐらします。そうだ、自分のクローンを作ろう。兄のように子供として愛するのが目的ではありません。クローンが成長するのを待つのです。15年ほど待てば大人になります。その頃には移植医学もさらに一段と進んでいます。クローンも自分も首で切り離して、入れ替えるのです。年取った肉体に入れ替えられたクローンの方はそのうち死ぬはずです。若い肉体に入れ替わった自分は大いに人生を楽しもうというわけです。ついでに顔のほうも精一杯若返らせます。

そこで、借金で首が回らなくなったが腕はすこぶるよい医者を探してきて、自分のクローンを作り、密かに育てます。15年後、肉体入れ替えの計画を実行します。計画通りうまくいきました。

万事うまくいくはずだったのですが、思わぬ誤算がありました。弟の脳には脳腫瘍ができていたのです。すでに老年に達していたので、その進行は緩やか

なものの上に、自覚症状を起こすまでには至っていませんでした。ところが、クローンの肉体に入れ替わったために、脳腫瘍は急速に進行し始めました。あっという間に手遅れになってしまい死んでしまいました。後には、若い頭脳と年取った肉体を持った弟のクローンが残りました。生来ずばぬけて聡明だった弟のクローンは、弟になりきることにしました。

弟の肉体は健康そのものでした。むしろひ弱だったクローンの肉体よりも頑健だったのです。しかも、異常に性欲が強いのです。そんなわけで、クローンは高級な脳と低級な肉体の葛藤に苦しめられることになってしまいました。しかし、弟の人格の本質は、クローンの肉体に残ったわけだから、弟も目的を達したといえないことはないでしょう。